

高石商工会議所景気観測調査 2022年12月調査

(調査概要)

○調査対象:高石市内 64 社(業種内訳 製造業12社、建設業13社、小売業・卸売業16社、飲食業12社、サービス業11社)

○調査時期:2022年12月

○調査項目:売上高、採算、従業員(人手)状況、業況、資金繰り、新型コロナウイルスの影響

○調査方法:「FAX、インターネットによる回答」・「職員による調査票に基づくヒアリング」

(全体)



売上高		採算		資金繰り	
増加	12	好転	9	好転	3
不変	24	不変	29	不変	47
減少	28	悪化	26	悪化	14

新型コロナウイルスの影響に加え、**資材、原材、燃料の高騰**などにより採算が悪化しており、この先も厳しい状況が続くと予測されている。**資金繰りについても好転の兆しはなく、コロナ関連融資の返済開始**もあり、引き続きの資金管理はもちろん**早めの経営相談**を活用したい。

(製造業)



売上高		採算		資金繰り	
増加	3	好転	2	好転	0
不変	3	不変	4	不変	8
減少	6	悪化	6	悪化	4

前回調査と景況感は変わらないが、**原材料、燃料の高騰**により引き続き厳しい状況は続いており、先行きは悪化すると予測されている。これらにより資金繰りが厳しくなっており、資金管理に加えて**営業体制の再構築**などによる**売上確保**に取り組みキャッシュフローの改善を進めたい。

(建設業)



売上高		従業員		業況	
増加	4	不足	4	好転	1
不変	5	不変	8	不変	12
減少	4	過剰	1	悪化	0

前回、前々回と同様、**他業種に比べて景況感が落ち着きつつあり**、先行きも悪化するという予測ではない。ただ、**慢性的に人手が不足している業種**であり、今後の事業展開への影響が懸念される。**大阪産業局の人材採用コンシェルジュ**など**人材採用支援**を活用して人出不足対策に取り組みたい。

(小売・卸業)



売上高		採算		業況	
増加	1	好転	1	好転	1
不変	10	不変	10	不変	11
減少	5	悪化	5	悪化	4

原材料や燃料の高騰、人材確保のための人件費の増大などにより採算が悪化しており、先行きも同様の厳しい状況が続くとの予測である。新型コロナウイルスの影響も依然として続いており、思い切った改善への取り組みが不可欠な状況である。改善計画の策定を検討し、必要に応じて小規模事業者持続化補助金や事業再構築補助金などを活用したい。

(飲食業)



売上高		採算		資金繰り	
増加	3	好転	2	好転	1
不変	2	不変	3	不変	7
減少	7	悪化	7	悪化	4

前は改善傾向がみられたが、新型コロナウイルスの影響が非常に大きいという状況が続いており、業況感はむしろ厳しくなっている。コロナ関連融資の返済開始もあり採算や資金繰りの悪化が今後も続くと予想されている。キャッシュフロー把握とともに新事業展開なども場合によっては必要であり、経営相談や補助金の活用を進めたい。

(サービス業)



売上高		採算		従業員	
増加	1	好転	1	不足	1
不変	4	不変	4	不変	9
現象	6	悪化	6	過剰	1

前は景況感に改善傾向がみられたが、今回は売上や採算の面で厳しい景況感となっている。従業員の確保が売上に大きく影響するという特性を持つ業種であり、コロナ関連融資の返済など資金繰りの把握はもちろんであるが、大阪産業局の人材採用コンシェルジュを活用するなど、人材への投資を進めることも検討したい。